

自傷行為、母の自殺、性的トラウマ
暗闇に光がさす瞬間
～インナーチャイルド癒しの分岐点～

インナーチャイルドセラピー 埼玉川越センター
松岡真奈美

真に癒すには

“インナーチャイルド癒しと霊性の向上。”



ことがわかっていないからです。崇高な命が宿っている

命の意義

——真我と自我

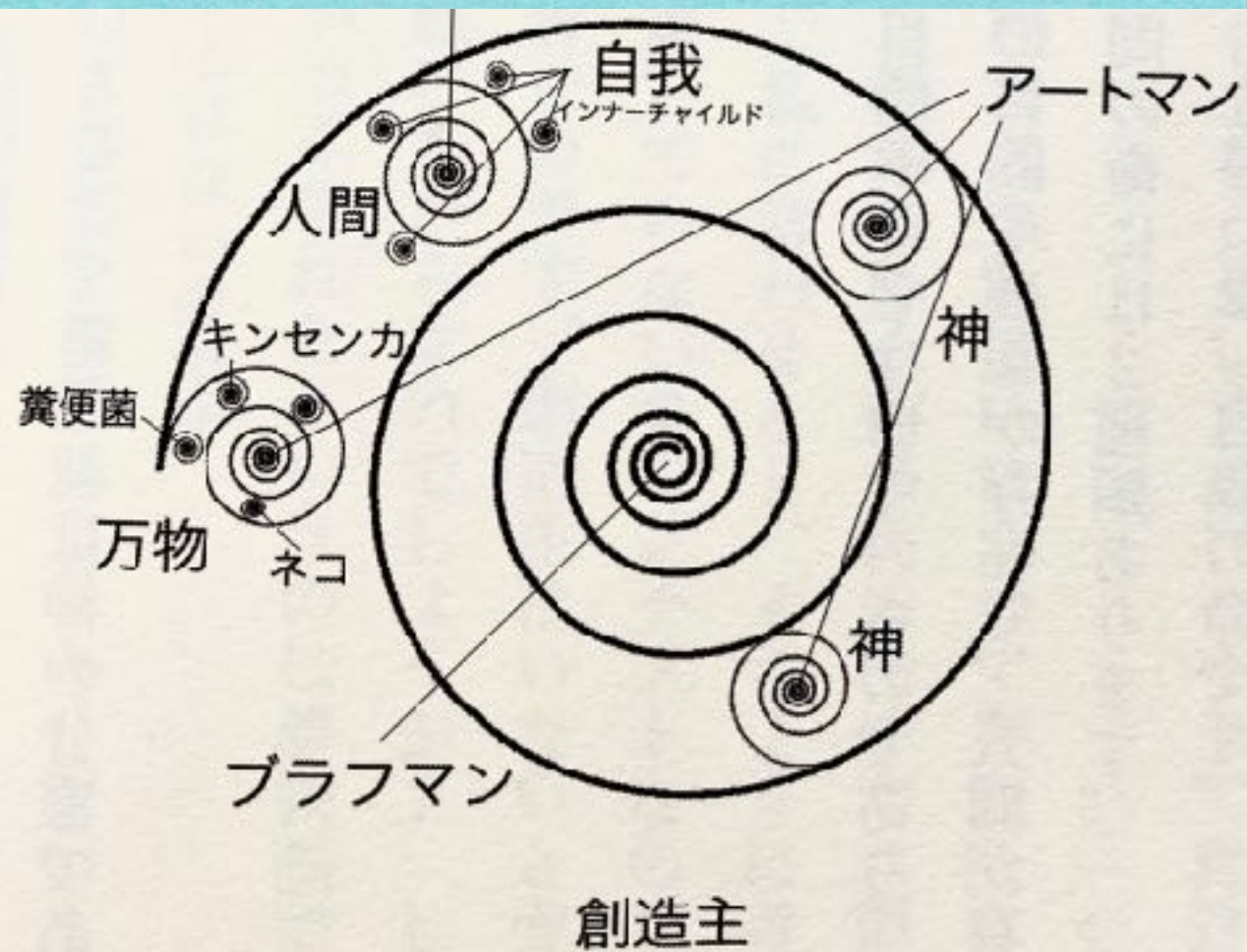
命あるところには目的や理想があります。目的や理想
志そのものです。神々が存在するならば神々の目的や理想
らば人間の目的や理想が存在するのです。人間の命には
の命である真我（魂、神性、仏性）の命で、もう一つは、
理想があると同時に自我が目的や理想とするところがあり
ら生じ、真我の命は神々の命から分け与えられた命であ

ケース① 18歳青年（家庭内でホメオパシー使用）主訴 自傷行為が止まらなくなる、他の発散方法がわからない

- ▶ 4人兄弟の長男
- ▶ 感受性が強く内的表現が豊か
- ▶ 感情を押しえ込んで生きてきた
- ▶ 孤独感が強く人とのつながりを常に求めている
- ▶ 完璧主義で努力家、妥協できない
- ▶ 小学生時、全校生徒の前でどもって恥をかいた
- ▶ 高校受験で第一志望校に落ちた時に、〇〇って残念だよねと先生から言われた時の強い恥の意識
- ▶ 悪質ないじめ、極度の心配性、失恋 など

“この自分とは違う自分になりたい”

- ▶ 命が最優先と思えるようになってきた。
- ▶ 結果をありのままに受け取ることができるようになった。
- ▶ インチャを激しく揺さぶった人に会いに行って、ありのままの自分を見せることができた。
- ▶ 恥の意識が緩んで、負けることができ、心が軽くなった。



渦（創造主の命：ブラフマン）の中に小さな渦（神々の命：アートマン）ができてその小さな渦の中にさらに小さな渦（万物）ができる。人間は神と同質の命（自我）をもつが、そこから生じる自我の渦は自然の流れに逆らうもの（インナーチャイルド）と自然の流れに沿ったものがある。

経過

2022年8月（開始）～

自傷行為（レッグカット）が止まらない。虚無感、生きる喜びや目的が見えない状態。
恥の意識からくるインナーチャイルド癒しを中心に行い受験期を乗り越える。

2023年3月～4月

不合格となったけれど受け入れ、等身大の自分で人に会うことができる。

2023年5月～9月末

真我（神の働き、生きる目的、魂）についての理解をワークシートを使って深める。
この心で生きていきたいと気づく。

激しく頻繁だった自傷行為（レッグカット）がおさまる。

自分でインチャ癒しをして沢山涙を流すようになる。

2023、9月末

再度、軽度の自傷行為（レッグカット）を行う。

2023年10月3日

恥のインナーチャイルドとは別のインナーチャイルド （愛されない恐れ）が見えてくる。

自分を愛せない理由が、許しが足りない＝自分を責めているからであることが分かり始める。

自傷行為（自らを斬りつける）に及ぶ傷は過去世から繰り返しきていることを感じ、今世取り組んでいる自分を誇りに思う。

自分を労わり、自分だけは味方だよという言葉を増やす

＝ダメな自分を許して愛することに自ら向かう意識が芽生える。

ケース② 40代女性（ホメオパシー相談会歴あり）主訴 母の自殺、引きこもり、喪失感

- ▶ 思春期に母の自殺を体験
- ▶ 精神薬を大量にとっていた母とは幼少期からつながりが弱かった、思い出が少ない
- ▶ 人目には気丈に活発に振舞って生きてきた
- ▶ 30代から引きこもり、鬱、外とのつながりを断つ
- ▶ 喪失感、愛されるはずないという意識から抜けられない
- ▶ 2年間セラピーで主に、虚無感・自責・悲しみ・怒り・喪失感を癒す（インナーチャイルド癒し）
- ▶ 3年目に真我の意識 ご神仏様の働きを体感し、生き方価値観が変わる（霊的価値観への移行）

▶ ～コングレスへメッセージ～

あの頃の寝たきりの自分に

「大丈夫、これは必然！この後絶対に輝きを見つけることができるから！」と声をかけてあげたい。

あれからも、体を動かし生活できることに幸せを感じながら過ごしています♡

セッションの頃がとっても懐かしいです。ご縁に感謝です。

ケース③ 40代女性（ホメオパシー初心者）主訴
父母夫との確執、性的トラウマ

- ▶ 本音で沢山涙を流し、真我があることを意識したセラピーの後すぐに、母に会う度に再発していた原因不明の足の痛みが消えた。
- ▶ 酒乱で自分に無関心な夫に対する激しい怒りがかなり減った。
- ▶ 過去、死の淵で思ったことがすぐに実現した。
- ▶ 心経を毎日あげている。レメディーを学びセルフケア開始
- ▶ 『寅子先生の考えはどこでも聞くことのなかった考え。
インナーチャイルドセッションで本当に、初めて、苦し
みが流れ始めた』

ケース④ 40代女性（インチャ卒生）
薬を常用、ご神仏様の働きを信じられない

- ▶ 自己治癒力、ご神仏様の働き、命の理を信じることができない理由が、両親の離婚時の喪失感と絶望から来ていた。癒すことで、自分の体のすることを信じられるようになった。
- ▶ 15年とり続けていた便秘薬をセラピー翌日からやめることができ、自力で出せた。
- ▶ 初めて、人に苦しい助けてと本音と言えた。みんなが助けてくれた。
- ▶ 『人口的なもので何かを変えようとするのではなく、自分の体を信じることが久しぶりにできている。サポートチンクチャーもコツコツ毎日とっています』
- ▶ 『このセラピーは、心に火を灯すもの。ずっとこの感覚を求めていた。』

まとめ

- ▶ インチャ癒しと霊性向上で相乗効果。
- ▶ 本音が大事。